

みなさんは、何を軽米らしさにあげますか？

昔きゅうり、店頭 の炭火で魚を焼く風景、今はないあの街角の建物・・・などなど

「完成！軽米・お宝マップ」

『地元学ワークショップ』...という、いかにも難しそうなことをイメージする人も多いかもしれません。が、決してそうではありません！去る10月19日（土）軽米中央公民館において、「軽米らしさ探偵団」主催の『地元学ワークショップ』は6名の岩手大学の学生さんと地元の人たちとの楽しく和やかな交流の中で行われ、最終的には3枚の見事な「軽米・お宝（地域資源）マップ」ができあがりました。

指導してくださったのは、7月の『地元学講演会』の時の講師でもあった岩手大学農学部田園都市計画研



「みちのく軽米・今昔物語」下新町～昭和橋

究室の広田純一教授。研究室の学生さんたちを引き連れてマップ作りに参加してくださいました。

昨年度の市町村連携講座『軽米探訪』の時に町内を歩いて写した軽米の名所・旧跡・お宝の写真を、拡大した地図の上にイラストシール等を利用しながら貼り込んでできあがった手作りのマップは、地域を越え世代を越えた参加者全員の知恵と汗の結晶...でも素晴らしいできあがりでした！



「萩とかえでと桜と川と」昭和橋～仲軽米

できたらいいですね。」広田教授のこの言葉が、いつか実現されることを夢に見て「がんばろう！」と気持ちを新たにしたいときでした。

このワークショップを含め、今年度、軽米らしさ探偵団が助成を受けている財団法人ハウジングアンドコミュニティ財団の担当の中村さんも東京から参加して皆さんと一緒に作業をしました。



岩手大学の広田先生(上)と学生さんから指導を受けながらマップを作成しました。



「歴史と文化の里・上館」上館地区

完成したお宝マップは、町民文化祭で紹介し、引き続き中央公民館に展示しています。